

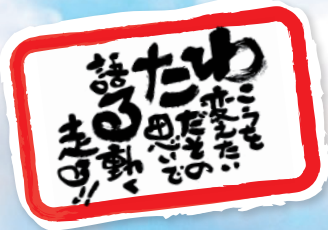
埼玉県議会議員 県政報告

井上わたる

配るホームページ 第86号



昨年の県議選で当選し、4期目の任期がスタートして1年が経過しました。この間の活動や成果をしっかりとご報告できればと思います。



無所属

井上わたるの和光ブログ



県政に関わる情報や日々の活動報告などの【最新情報】は引き続きネットを活用してお伝えします!

大いなる力には、大いなる責任が伴う

With great power comes great responsibility

この言葉は映画「スパイダーマン」に出てくる名言で、驚異的な力を手にした主人公ピーター=パーカー(スパイダーマン)に、育ての親である叔父のベン=パーカーが語るセリフです。私は、これを議員である自分に言い聞かせています。

政治は人の命や暮らしを救うことができる反面、人の人生を大きく変える力も持っています。また、数さえ集まれば、議会において影響の大きい行動・発言・議決も可能となります。

現在、国政では自民党の裏金問題が連日取り沙汰され政治不信を招いています。

県政でも昨年9月定例会で、自民党議員団が「留守番禁止条例」とも揶揄された「虐待禁止条例改正案」を提案するものの、県民の大きな反対の声を受けて撤回するなど、自民党一強状態の驕り・弊害とも言える状況が続いています。

また、和光市政でも3月議会に一部議員の退席による「議会空転」が起きるなどの混乱が発生しました。

議員は自身の行動には大きな責任が伴うことを改めて自覚し、真摯に政治に向き合うべき、と考えます。



TOPIC 1

全選挙区を通して 無所属議員として最高得票率を記録

私は令和5年4月9日執行の埼玉県議会議員(南第22区・和光市)で4期目の当選を果たしました。



届出番号	候補者	政党名	得票数	当落	得票率
1	政党公認候補者	自由民主党	6,893	落選	30.6%
2	井上わたる	無所属	15,649	当選	69.4%

私のこの**69.4%**という得票率は、全ての選挙区において、**対自民党**(=改選後に自民党議員団に所属した議員)との**選挙で獲得した最も高い得票率**となりました。これからも特定の組織や政党からの支援を受けず活動を続けてまいります。



会派メンバーと共に大野知事と撮影

改選を経て、引き続き7名の無所属議員で会派「無所属県民会議」として活動しています。この7名は無所属ながら各々の選挙区でいずれもトップ当選を果たしています。(無投票選挙区を除く)これまで同様、県民会議の名の通り、県民目線で活動してまいります。

「無所属県民会議」の会派代表に就任

そして、私が4期と最も期数が高いことを踏まえ、会派代表者に選出されました。これにより、

- 所属議員全員が2期生以上の**即戦力・即応力の会派**
- 所属議員の平均年齢(改選当時で47.7歳)及び代表者の年齢が**最も若い会派**

として今任期をスタートしました。

会派代表としては、

- 議会における「代表者会議」への出席
- 県や各種団体の催す式典への出席
- 県議会広報への出演・マスコミからの取材対応
- 知事をはじめとする県執行部とのやり取り

など責任と業務が格段に増え、前任期まで以上に多忙な日々を過ごしております。



県議会広報番組「こんにちは県議会です」 主要会派代表者に聞く に出演しました



県議会初の試みとしてFM79.5「NACK5」の人気番組「GOGOMONZ(ゴゴモンズ)」に「埼玉県議会におじゃまします!」という期間限定のコーナーに出演。写真は収録風景(パーソナリティーの三遊亭鬼丸師匠(中央)と横田かおりさん(右)と共に。



令和5年6月22日 毎日新聞「県議会派 新代表に聞く」※ここに綴った「病気の子どもを支援」のために、「こどもホスピス」の設置を一般質問で取り上げました。詳しくは次号以降でお伝えします。

令和6年3月28日 埼玉新聞 埼玉県議会では改選後も自民党一強状態は続いています。他党派と連携できることで力を合わせて現状打開に臨んでいます。先日(令和6年2月定例会最終日)に実施された副議長選挙では自公連合に挑む形で会派を超えて私の名前を投票してくれました。

県民会議の新たな代表に就いた井上航氏(43)は「今回の選挙では無所属議員への期待を感じたので、受け皿になれるように。全員2期生以上となり、即戦力の会派として踏み出す」と話した。

令和5年5月17日 埼玉新聞

副議長選(有効投票91、無効0)は松沢氏が68票を獲得、井上航氏(県民)が20票、伊藤初美氏(共産)が2票、田並氏が1票だった。

有言実行! 県議会改革の旗振り役に

改選後のテレビ埼玉の取材や、埼玉新聞の取材にも議会改革に対する想いを積極的に発信してきました。

そして、わが会派は結成以来、開かれた議会となるよう「議会改革」を訴え続けてきました。これからも議会改革の旗振り役を目指し、県民の皆さまの声を県政や県議会へと届けてまいります。



令和5年6月22日 埼玉新聞

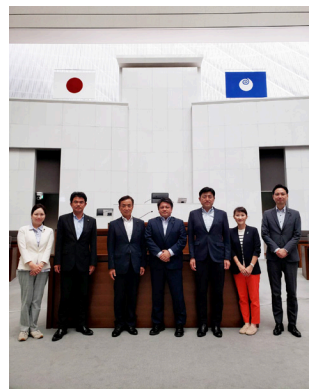


令和5年5月16日 テレビ埼玉 ニュース545

令和5年度に新たに設置された「埼玉県議会だよりに係る広報検討会」や、各主要会派が参加して開催される「議会運営委員会」などを通して、前任期から私たち無所属県民会議が訴えていた次の項目が実現しました。

- 県議会だよりの「一般質問」の紙面に質問者名(議員名と写真)を載せる。(※これまで質問内容と答弁だけが掲載され、質問した議員が匿名の状態でご覧されていました)
- 速記の廃止
- テレビ埼玉の本会議中継において、本会議休憩中のフィラー映像に聴覚障害者のために音声案内を追加

この他にも、全会一致で「傍聴席のモニターやインターネットによるライブ中継画面に字幕配信機能を追加すること」を決定するなど、議会改革は着実に進んでいます。また、私たち会派は令和5年度には議会改革の先進地である茨城県議会を視察しました。引き続き議会改革の旗振り役として議論をリードできるよう調査・研究を進めてまいります。



茨城県議会視察の様子

編集後記

「大いなる力には大いなる責任が伴う」は 私たち市民一人ひとりが持つ「一票の力」にも言えることです

このチラシの冒頭で「政治家はこの『大いなる力には大いなる責任が伴う』という言葉に噛みしめるべきだ」とお話ししましたが、私たち市民の持つ「一票の力=投票権」にも通じる言葉だと思っています。「投票しないこと」や「誰かに言われての投票」が、かえって政治の一強状態や暴走を助長することを目の当たりにした方も多いと思います。和光市では1年後には市長選挙があり、国政はいつ衆議院の解散総選挙があってもおかしくない情勢です。是非、政治に関心を寄せてください。



井上わたるプロフィール

自己紹介

昭和54年10月1日生まれ。父親の転勤により東京、名古屋、広島、兵庫などで生活。平成7年阪神大震災に被災。当時の政府や自治体の対応に問題を感じ、「人の暮らし・命を守る政治家になる」と決意。妻と長女、長男の4人暮らし。子育てしながら議員活動を行う。

経歴

- 平成14年:立命館大学法学部環境生活法コース卒業
- 平成14年～19年:福祉・医療系人材派遣会社にて介護・看護職の就業支援に携わる。

- 平成19年～23年:和光市議会議員を務める。この年の選挙で「本人」の旗を掲げて駅頭や自転車で活動。以来、和光市における「元祖・本人」の異名をとる。
- 平成23年～:県議会議員1期目。無所属議員の同志と共に活動スタート。
- 平成27年～:県議会議員2期目。会派「無所属県民会議」を結成。政務調査会長を務める。
- 平成31年～:県議会議員3期目。令和元年度には県政史上初の「無所属議員の議運 副委員長」を務める。
- 県議会議員4期目。会派代表を務める。



発行元 埼玉県議会議員 井上わたる事務所
連絡先 (埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡401号室
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854
E-mail: inoue_airline@yahoo.co.jp